

あいちの印刷

4

2016.4
No.533



花桃の里（長野県下伊那郡阿智村）

もくじ

- 巻頭言「新検定への挑戦を」 3
- 平成27年度中部地区印刷協議会下期会議
「印刷産業新成長戦略2025計画」策定 4
- 在任4年間を振り返る
嬉しい成果「CSR認定制度」事業 6
- 愛印工組／ゼロから始める「見える化」セミナー
「見える化」への取り組み 8
- 全印工連
官公需取引における要望 10
- 愛印工組／2月期理事会・支部長会
理事長候補者に細井俊男氏 11
- 重要なお知らせ
平成28年度前期
「鉛・有機溶剤取扱者健康診断実施」のご案内 12
- 愛印工組・マーケティングセミナー
異業種トップから学ぶチャンス 13
- 第7回ポスターグランプリコンペティション
告知ポスターできる 14
- 編集だより 14

人に 社会に 想いを カタチに

///O 愛知県印刷工業組合

FUJIFILM
Value from Innovation

成長は、「省資源」から。

もっと強く、もっと付加価値の高い印刷ビジネスを実現するために
富士フィルムは提案します—— 成長は、「省資源」から。
材料・工数・水・エネルギー・排出、
これまでの「コスト」を減らし利益に還元。
製版・印刷工程を軸にした、
独自のソリューション「FUJIFILM SUPERIA」が
あなたの会社をどこよりも強いものへ変えていきます。

**FFGSは、戦略的『省資源』で、
トータルコストダウンを支援いたします。**

FUJIFILM
「減らす」がつくる、クオリティ **SUPERIA**

富士フィルム グローバルグラフィックシステムズ株式会社 中部支社 〒460-8404 名古屋市中区栄一丁目12番17号 富士フィルム名古屋ビル 052(201)8171 [ホームページ http://ffgs.fujifilm.co.jp](http://ffgs.fujifilm.co.jp)



ともに、世界へ彩りを。

リョービMHIグラフィックテクノロジー株式会社は、ドイツで開催される、
世界最大規模の国際印刷・メディア産業展 drupa 2016に出展します。
「ともに、世界へ彩りを。」をテーマに、新しいシンボルマーク、コーポレートメッセージ、
および新機能を搭載した新しいデザインの印刷機を紹介、
当社の新技術を世界に向けて披露します。

出品
モデル



Packaging Printing RMGT10 LED-UV **Digital Printing RMGT DP7** **Commercial Printing RMGT 9 LED-UV**

touch the future

May 31-June 10 2016
Düsseldorf/Germany



drupa 2016 出展のご案内

日時:2016年5月31日(火)~6月10日(金) 10:00~18:00(土:日は10:00~17:00)
会場:デュッセルドルフ見本市会場 Messe Düsseldorf 当社ブース ホールNo.16、ブースNo.D24

リョービMHIグラフィックテクノロジー株式会社

中日本支社 〒468-0034 愛知県名古屋市中区白鳥1-145-1 TEL 052-807-1671

<http://www.ryobi-group.co.jp/graphic/>

優れた安全性と作業効率を実現して eRCシリーズ誕生。



eRC
SERIES



ITOTEC

イトテック株式会社

最新情報はインターネットで www.itotec.co.jp

Photo: eRC115DX

本社	愛知県犬山市舟田10-4	TEL 0568-67-5311	FAX 0568-68-0495	〒484-0912	福岡サービスセンター	福岡市東区箱崎ふ頭6-1-6	TEL 092-651-6031	FAX 092-631-1746	〒812-0051
東京支店	東京都板橋区中台1-31-1	TEL 03-5920-2161	FAX 03-5920-2171	〒174-0064	札幌サービスセンター	札幌市中央区北一条西18-1	TEL 011-611-7221	FAX 011-611-7224	〒060-0001
大阪支店	東大阪市荒本新町3-2-9	TEL 06-6618-5335	FAX 06-6618-5337	〒577-0022	新潟サービスセンター	新潟市横越中央1-11-10	TEL 025-385-2059	FAX 025-385-3701	〒950-0208
四国営業所	愛媛県四国中央市新宮町上山3307	TEL 0896-72-2020	FAX 0896-72-2050	〒799-0302	仙台サービスセンター	仙台市宮城野区岡田浦通1-132-7	TEL 022-258-1758	FAX 022-258-1793	〒983-0003

巻頭言

“新検定への挑戦を”

教育委員長 木村吉伸

4月、新年度のスタートです。学生さん達は進学進級し入学式や始業式。企業は新入社員を迎えたり、3月で決算を終え新年度方針を発表される時期ですね。

教育委員会では毎年、印刷技能検定オフセット印刷作業実技及び学科試験を実施してまいりましたが、今年より新たに“新DTP検定”を実施する予定です。

この検定は、平成9年より日本写真製版工業組合連合会(現、日本グラフィックコミュニケーションズ工業組合連合会)が主体となり技能検定製版職種「DTP作業」として実施されてきましたが、平成20年を境に受験申請者数が減少傾向の一兎をたどり、全国で100名をきるまでになってしまいました。平成26年秋、厚生労働省の「技能検定職種の統廃合に関する検討会」の統廃合検討対象職種になり存続が危ぶまれました。

DTP作業は、アナログからデジタルに変わりIT化の一番の波を受けましたが、皆様ご周知の通り、印刷の一部であり切っても切れない作業です。

国家検定は一度廃止されると再度認定されることは大変難しい故、その印刷業における重要性を鑑み、全印工連が主管団体となりDTP検定の存続を厚生労働省に要望すると同時に、1年間の検討の末、試験内容と実業の乖離の解消をはじめとする製版技能

検定試験の内容の追加や修正を行いました。その結果、平成28年度検定が平成29年1月頃に実施される運びとなりました。

DTP検定には、1級と2級があります。

組合員の皆様、DTP作業従事者への教育の一環として、また社員の皆様の目標として新DTP検定を是非ご活用いただければと思います。

※経緯

厚生労働省の「技能検定職種の統廃合などに関する検討会」報告書によると、「製版職種」は平成27年度の検定試験を休止するとされた。技能検定は働く上で身に付けるべき、または必要とされる技能の程度を国として証明する制度で、これに合格した人だけが「技能士」を名乗ることができる。現在128職種を対処に実施されているが、この業種の中で、直近6年間の平均受験者数が一定の基準に満たない職種について統廃合の方向が打ち出され、その対象となったのが「製版職種」である。過去6年間の平均受験者申請数が97人で一定の基準に満たないことから休止となった。

全印工連では「技能検定職種・製版DTP検定の存続についての要望書」を厚生労働省職業能力開発局に提出。「印刷業において製版技能者のレベル維持・向上は、印刷事業におけるコアコンピタンスの一つである。本検定の維持・継続は印刷業界の緊急かつ重要な課題である」との主旨で訴えた。その結果、28年度検定は実施するとの措置となった。

TOYO INK

生活文化創造企業

あなたが企業に求めるものは何ですか？私たちはモノ作りの会社として、先端の技術、最高の製品と品質、そしてまた、さまざまな企業活動を通じて、あらゆる人々に“満足”を届け、しあわせな生活のシーンを支えていくことだと考えます。

私たち東洋インキグループは、世界にひろがる「生活文化創造企業」を目指します。

東洋インキ株式会社

中部支社 〒460-0002 名古屋市中区丸の内1-15-20 ie丸の内ビルディング12F Tel:052-218-7460

www.toyoink.co.jp

□平成27年度中部地区印刷協議会下期会議



「印刷産業新成長戦略2025計画」策定 印刷産業の新しいビジョン示す



挨拶をする四橋中部地区協会長

平成27年度中部地区印刷協議会（中部地区協／四橋英児会長・岐阜県印刷工業組合理事長）の下期会議（愛知県会議）が、2月26日午後1時30分より名古屋駅前のホテルキャスルプラザで開催され、中部5県（愛知、岐阜、三重、富山、石川）の印刷工業組合執行部、役員ら64名が出席。また、全日本印刷工業組合連合会（全印工連）からは、島村博之会長、木野瀬吉孝副会長（愛知県印刷工業組合理事長）、臼田真人副会長（東京都印刷工業組合副理事長）、生井義三専務理事、オブザーバーとして（公社）日本印刷技術協会花房賢CS部副部長が出席した。全体会議では、全印工連事業概要の説明。分科会では、5つの分科会と理事長会開催され、それぞれ活発な意見交換が行なわれた。

「印刷産業新成長戦略2025計画」4月以降に発表

下期会議の冒頭、開催県を代表して細井俊男中部地区協副会長（愛印工組副理事長）が、「本日の会議が実りあるものとなるよう祈念している」と開会挨拶。

続いて、四橋中部地区協会長が「アベノミクスがスタートして4年。それなりの成果は出ているが、非常に無理がある。そうした中で印刷業界はどうかというと、ここ最近まで敵と思っていたIT関係を取り入れ、ITを味方にすることで、非常に成長している企業が増えてきた。ITの強さ、弱さ、それからデジタル、アナログの使い分けが非常にうまくなってきた。いま印刷業界は、ある意味、非常に良くなってきたと思っている。会議はしっかりと勉強していただき明日の糧にしていきたい」と述べた。

次いで、全印工連島村会長が挨拶に立ち、「私の任期もあとわずかとなった。地区協への参加も今回が最後となった」と述べた後、4年間の会長職を振り返り、全印工連委員会活動に触れた。（※島村会長の挨拶は別項参照）。

□全体会議前半／全印工連事業概要

全体会議前半は、全印工連の事業概要について生井専務理事が「①全印工連2025計画、②用紙等諸資材価格動向および官公需問題に関する調査結果に基づく要望、③第9回MUDコンペティションの結果、④印刷業経営動向実態調査の実施、⑤オフセット印刷工場用VOC警報器の案内、⑥CSRワンス

ターおよびツースター認定の申請受付、⑦技能検定製版職種DTP作業の実施準備状況、⑧各種案内（平成26年工業統計速報、クラウドバックアップサービス事業特別キャンペーンなど）について説明した。

その中で、全印工連2025計画の策定について、「今年4月以降に『印刷産業新成長戦略2025計画』を発表する予定である。環境、地域創成、女性活躍、ダイバーシティ、CSRなど、様々な座標軸から印刷産業の新しいビジョンというものを示す。この策定は産業戦略デザイン室で行なっている」とし、また、用紙等諸資材価格動向および官公需問題に関する調査結果に基づく要望では、「昨年8月27日に開催された中小印刷産



開催県挨拶をする
細井愛印工組副理事長



事業概要を説明する
生井専務理事

業振興議員連盟の総会において、用紙の値上がり問題、さらには官公需取引に関する課題を説明した。その際、出席議員から官公需取引の実態を調査すべきという意見があり、経済産業省と調査項目を調整して、昨年の10月から調査を実施した。今回の調査は、官公需取引の実態を把握したうえで、中小印刷業界としての要望事項をまとめ、経済産業省、あるいは、中小印刷産業振興議員連盟に提出をすることが目的である」と経緯を説明。その上で、今回の結果をふまえての要望事項として、「①中小企業者に関する国などの契約方針の徹底遵守、②低価格競争防止策の導入、③財産権の保護について(中間生成物の所有権とイラスト、写真、編集などの著作権の保護)の3点に集約し、要望書を提出する」と説明を加えた。(※「官公需取引における要望」は別項参照)

また、受検者が少なく、国で廃止が検討されたDTP技能検定は、今年度は検定を休止して試験内容を見直した上で、来年度に再開するが、「現時点で14工組が前向きに検討している。社員の技術力を高める指標として、多くの工組で開催して欲しい」と、検定実施を呼びかけた。

□全体会議後半

小休止の後、分科会、理事長会に移り、分科会は、経営革新・マーケティング分科会、環境・労務分科会、組織・共済分科会、教育・研修分科会、取引公正化分科会の5分科会、そして理事長会が開催された。

全体会議後半に入り、各分科会、理事長会の討議内容の報告が行なわれた。以下その要旨をまとめた。

▼経営革新・マーケティング分科会(田上裕之/石川県常務理事) 新たなビジネスモデル構築のヒントになるようさまざまな角度から研修メニューを策定する必要がある。中には予算的な問題でセミナー開催が困難な組合もある。東京と地方をインターネットで結び、各県で同時に受講できるようにすることも重要であると思う。また、各工組で工場見学会が開催できるように、全印工連で受け入れ可能な企業を募って欲しい。

▼環境・労務分科会(寺田俊之/富山県副理事長) 昨年、従業員50人以上の事業場でストレスチェックが義務化された。この6月には危険有害性のある化学物質を使用する事業場でのリスクアセスメントが義務化される。これらの法令を

遵守して従業員の健康維持対策に万全を期して欲しい。日本印刷産業連合会は、オフセット印刷工場向けのVOC(揮発性有機化合物)警報機を大阪の電機メーカーと共同で開発した。この装置は、VOC濃度が一定レベルを超えると警告する。こうした機器の導入も従業員の健康を守ることに重要な役割を果たす。

▼組織・共済分科会(大洞正和/岐阜県常務理事) 共済は組合の重要な収入源である。保険会社に任せずに組合側も積極的に動き、未加入事業所への勧誘に務めて欲しい。また、組合員増強を図るため、組合加入のメリットをわかりやすく示すことも重要である。例えば、国からの助成金の情報や受け方を組合からわかりやすく提供できれば、加入するメリットになるのではないかと思う。

▼教育・研修分科会(松岡祐司/愛知県副理事長) DTP技能検定は、これまで行なってきた岐阜以外に、愛知、富山、石川などが実施の意向である。ただし、実施には検定員の確保が課題である。実績のある岐阜に検定員派遣検討をお願いしたい。国家検定合格者に報奨金を出す企業への国の助成制度がある。そうした制度も活用し、社員の技術向上を図って欲しい。国の認定資格である「印刷営業士」の取得講座は、今の時代に即した内容に刷新した。e-ラーニングによる講座開設も検討したい。

▼取引公正化分科会(塚本誠/三重県副理事長) 全国の組合員に実施した官公需問題に関する調査では、「資材値上げ分の価格転嫁ができていない」、「激しい低価格競争にさらされている」などの回答が目立つ。また、中間性生物の所有権、イラストなどの著作権は印刷会社に帰属するにもかかわらず、多くの企業が「無償提供を要求される」と答えている。著作権については、三重では昨年度行政側にも参加を呼びかけて勉強会を開いたが、なかなか成果は現れてこない。

▼理事長会(吉田克也/石川県理事長) 次期地区協会長も引き続き岐阜の理事長が努めることに決まった。全印工連の経営革新・マーケティング委員会は石川、環境・労務委員会は三重、組織・共済委員会は愛知、教育・研修委員会は岐阜、取引公正委員会は富山から委員を派遣する。「ポスターグランプリ」は来年度から富山が参加する。これにより中部地区協全工組による主催となる。()内は報告者、所属組合、敬称略。

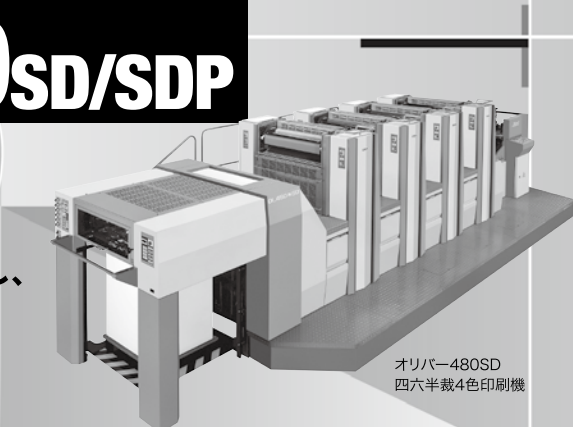
四六半裁

OLIVER 480SD/SDP

LED-UV 搭載

究極まで追求した
最新テクノロジーを随所に採用し、
更なる高品質・高生産性を実現。

大好評! オリバーSD/SDPシリーズ 菊半裁・四六半裁・菊全判の3機種



最高の製品をお届けすることで、
お客様の満足をお約束します

Sakurai
株式会社 桜井グラフィックシステムズ
<http://www.sakurai-gs.co.jp>

本社
〒135-0032 東京都江東区福住2-2-9
TEL.(03)3643-1131(代) FAX.(03)3643-1138

中部営業所
〒501-3733 岐阜県美濃市3951
TEL.(0575)35-2551(代) FAX.(0575)35-2881

大阪営業所
〒532-0012 大阪府淀川区木川東3-1-31
TEL.(06)6308-6651(代) FAX.(06)6308-6679

九州営業所
〒810-0001 福岡市中央区天神5-5-8
TEL.(092)741-2672(代) FAX.(092)741-2670

岐阜工場
〒501-3733 岐阜県美濃市3951
TEL.(0575)33-1260(代) FAX.(0575)33-1346

ISO 9001-14001 認証取得
生産技術本部



経営革新・マーケティング分科会



環境・労務分科会



組織・共済分科会



教育・研修分科会



取引公正分科会



理事長会

また、全印工連CSR推進専門委員会の報告を山田慎二委員(愛印工理事)が行ない、「CSRの普及・啓発の推進を図るため、各工組のCSRセミナーの開催を支援する」旨の報告と「日本印刷個人情報保護体制認定(JPPS)の取得の有用性」をアピールした。さらに、女性活躍推進室の報告を近藤起久子委員(愛印工)が行ない、女性が活躍できる環境づくりとして、「ワークライフバランス(WLB)導入の手引書の作成、セミナーの企

画・開催」が報告された。なお、WLBのセミナーは愛知でも開催予定であることが明らかにされた。

その後、質疑応答、四橋会長の下期会議のまとめ後、水谷勝也副会長(三重県工組理事長)の閉会の挨拶で終了した。

会議終了後、交流会が持たれ情報交換と親睦が図られた。

(なお平成28年度地区協上期会議(三重県)は、6月10日(金)四日市都ホテルで開催)



在任4年間で振り返る 嬉しい成果 「CSR認定制度」 事業

島村博之
全印工連会長

□感謝の気持ち

私の任期もあとわずかとなった。地区協への参加も今回が最後となった。今日は挨拶というより、4年間の簡単な報告とお礼述べたい。

男の人生において、一番生きがいを感じるミッションというのは、自分が守る範囲を広げるということではないかと思う。まずは自分を守って成長させ、家族、友人、会社の部下、その家族、取引会社、そして、業界や地域とその幅が広がれば

広がるほど、人生の充実感が湧いてくる。

思い返すと、4年前、私が次年度会長の候補者に選ばれたときは、本当に自分に会長が務まるのか、組合がしっちゃかめっちゃかになるのではないかと、会社はちゃんと業績を保ってくれるのか、そういった思いが次から次に湧き出てきて、不安で不安でたまらなかった。それよりも一番心配であったのは自分の性格である。言いたいことは言わずにいられない。一度意見を出したら納得がいくまで絶対にひっこめない。当然、先輩役員の皆様からは疎まれる。同世代にも敵が多かった。そんな自分が東印工組の理事長、ましてや全印工連の会長が務まるわけがないと思っていたが、4年間務めることができたのは、まさに全国の組合員の皆様の寛大なる理解と、温かい協力があったればこそと心から感謝を申し上げる。

□誤解を生んだ「やる気のある会社……」

会長就任に当たり打ち出したテーマが、「やる気のある会社に役立つ組合を目指す」であった。これは、大いに誤解を呼んで、「やる気のない会社はどうでもいいということか」という理解が広がってしまった。それからは、組合に残っている人

は全員やる気があるという認識のもとに、このような言い方になったという説明に相当のエネルギーを割くことになった。しかし、なかなかこの誤解を解くことはできず、1年余りはかなり悩ましい時期となった。結局、この言葉の真意、全印工連の姿勢を正しく証明してくれたのは、私の言葉による説明ではなく、委員会の活動そのものであった。

□委員会活動の成果

産業戦略デザイン室は、印刷道を発行しその浸透に向け、全国展開のセミナーまで用意してくれた。

産業連携推進室では業界関連企業との連携を一段と強化し、ご存知の通り昨年開催された全印工連60周年記念式典では、沢山の会社から多額の協賛をいただいた。

経営革新・マーケティング委員会は数多くの事業を手掛けたが、なかでも何よりの業績は、経営動向実態調査の刷新である。この改革で調査費用を大幅に削減することができ、さらに、過去、比較的大規模の会社からしか調査回答を得られなかったが、小零細規模の会社からも回答を得られるようになった。その結果、実態に近い数字を出せるようになった。

環境・労務委員会は、実に多くの事業を行なった。特筆すべきは、胆管がんのあとの問題に対する対応であった。環境省がオフセット印刷工程自体をがん発生の根源と位置付けた、とんでもない状況であったが、そんな中で地道な実地検証を重ね、その疑いを晴らした。

組織・共済委員会は、全国での委員会開催を積極的に進めて、共済の理解をさらに深めるという実績を残した。教育・研修委員会は、ご存知の通り私の不手際で、委員長が任期途中で辞任という失態を演じたが、後任委員長、委員の方々努力のお陰で、大きな事業の未達をすることもなく、ほぼ計画通りに活動を終えることができた。

女性活躍推進委員会では、初の女性委員長ということで、周りからは多少不安視する声もあったが、しっかりと活動を続けてくれている。組合がダイバーシティという流れの中に、乗り遅れないように礎を築いてくれた。

CSR推進専門委員会は、まさに生みの苦しみの委員会であった。特に風当たりが強かったのがCSR認定制度であった。まだまだCSRという言葉自体が世の中に浸透していない頃であっただけに、多くの組合員から「横文字なんか使っているんじゃないよ」という声があった。だからまずCSRとはいったいどういうものかという啓発活動から始めた。それでも認定制度に対しては根強い反対があった。今でも、何故、あんなに反対されたのか理解できていない。そんな中、CSR推進専門委員会のメンバーにはかなりの苦勞を掛けたが、粛々と認定制度の準備をしてもらい、半年後には第1回認定を実施することができた。今では、ツースター認定企業が14社、ワンスター認定企業が79社、計93社となった。認定申請中の企業も含めると100社を超えるのは時間の問題である。5,100社分の100社、たったの2%じゃないかと言われるかもしれないが、この4年間で、私が何よりもうれしい事業の成果だと思っている。

4年間ずっと逆風の中を突っ走ってきたような気がする。

しかし、多少なりとも組合員の皆さんに役立つ情報発信、事業活動ができたのではないかと考えている。そして何よりも、曲がりなりにもここまでこれたのは、ここにいる皆様に盛り上げていただいたおかげであり、全国の組合員の皆様に心から感謝を申し上げる。この4年間実力以上の成果を上げることができた。人生において、こんなに素晴らしいことはない。

□次期会長予定者

昨年12月10日に開催された平成28・29年度会長候補者選考委員会において、現副会長の臼田真人氏が次期会長候補に決定した。5月24日に開催される全印工連通常総会において、正式に就任が決まる予定である。

臼田氏が影、日向になりながら進めた事業は、主なものだけでも、ソリューションプロバイダーシリーズ、産業成長戦略提言書2冊の発行、経営羅針盤の発行、アドビ特別プログラムの考案、CSR認定制度の導入、全印工連60周年記念式典実行委員会の委員長、勝ち残り宿舎ゼミの取り纏め、組合財政の黒字化、国会議員による印刷産業議員連盟の発足と枚挙にいとがながない。自分の会社の業績向上と同じだけのエネルギーを、組合のブランドカアップに注ぐ高い志に、私は深い敬意を表する。

印刷機を持たない会社の経営者では会長は無理だという方もいる。しかし、私の会長経験から言うと、全印工連の会長を務めるにあたり、そういうことは、全く障害にならないということである。自分の会社に設備があることよりも、経営者としてどれだけたくさんの人脈を築いてきたかということの方が、組合運営をリードしていく上で、そしてそのスキルにおいて、はるかに重要で価値がある。これは、本人においてもさることながら、組合にとっても何物にも代えがたい財産だと思う。

業界の将来はまだまだ予断を許さない。この厳しい状況でしっかりと組合をリードしていくであろう氏を、皆さんで盛り上げてほしい。そして、それぞれの印刷工業組合と全印工連をさらに元気にしていただきたいと思う。

圧着DM製作~宛名印字・投函まで

社内一貫生産

圧着ハガキ専門!!

品質に安心 築く信頼

17900481001

株式会社 **メイセイプリント**

名古屋本社 〒452-0037 愛知県清須市枇杷島駅前東一丁目3番地3 TEL:(052)503-3091 FAX:(052)503-2557

■愛印工組 ゼロから始める「見える化」セミナー

「見える化」への取り組み

豊川印刷(株)／(株)近藤印刷／
(株)フジカ／(株)駒田印刷(株)

セミナーの冒頭、コメンテーターを務める松岡教育委員会担当副理事長が次のように述べた。

「全印工連では、『見える化から始める収益改善』というセミナーを行なっている。その中で、愛印工組では、本日のパネリストを務めていただく駒田印刷、フジカ、豊川印刷、近藤印刷などのほか、8社が見える化の取り組みを行なっている。この4社は、本日発表するというゴールを決めて、見える化に取り組んでいただいた。愛印工組として、今日が3回目の見える化セミナーになる。本日の発表を聞いて、会社にそのノウハウを持ち帰ってほしい。

印刷業界の現状は非常に市場価格も厳しく、仕事も少ない、売り上げが伸びない、そうした中で、社内の業務改善、社内の埋蔵金を掘り起こす。見える化をすることで収益改善をしていく。それは、社員の雇用を守り、ディフェンスを固めることである。セミナーが少しでも役に立てば幸いである」。

次いで、花房コーディネーターからパネリストが紹介され、事例発表に入った。



埋蔵金発掘プロジェクト PART2

「見える化」の構築

度会 尚志
豊川印刷(株)社長

最初に豊川印刷(株)度会尚志社長が同社の2年間の進捗状況を発表した。

同社は、昨年の1年経過の発表に続き、今年はその後の2年目の経過発表になる。その中で、「見える化」へのステップとして、「①5Sの優れた会社の見学、②5S取り入れと社員全員への周知徹底、③ミーティングでの唱和による企業理念・

愛印工組教育委員会は、2月26日午前10時より、ウインクあいち(愛知県産業労働センター)において、「第3回ゼロから始める『見える化』セミナー」を開催した。セミナーでは、見える化に2年間取り組んだ2社と3年間取り組んだ2社が自社の取り組み状況の発表を行なった。コメンテーターに松岡祐司愛印工組副理事長(全印工連教育・研修委員会副委員長／(株)アサリホールディングス代表)、コーディネーターに花房賢(公社)日本印刷技術協会CS部副部長(全印工連教育・研修委員会特別委員)が務めた。参加者は85名。

経営方針の共有、④行動指針の策定、年間経営計画策定、数値の見える化による方向性の共有、⑤社内の整備、がん検診の全員受診の取り入れなど福利厚生・社員満足度の向上などと共に、「就業システム、工程時間管理システムの導入」を進めた。その結果、社員からは、「文字打や校正をした時間を入力してみて初めて作業金額が分かった、他のアプリケーションと併用して時間短縮を工夫するようになった、仕事内容がクリアになって、見える化を始める前より仕事を進めやすくなった」など、多数の好評価がでた。

見える化を進めることで、「個人ごとの制作時間の把握、制作単価の統一化の推進、作業時間とコストを直結して考える、高率化を図る努力、工務の作業時間の把握、社内・工場内の整理整頓、時間・金額の意識、1つの商品完成までのいろいろな人との関わり、無駄の削減」などのメリットが生じた。



TIME IS LIFE

～私たちの見える化～

近藤起久子
(株)近藤印刷社長

続いて、(株)近藤印刷近藤起久子社長が2年目の進行状況の発表を行なった。

同社は、それまでのファイルメーカーのシステムを改造する形で自主開発したため予定よりシステム導入が遅れた。また、プログラム上の問題は、作る側と使う側が直接話し合わず、システム開発のアドバイス会社で優先順位を決めて、開発指示をしてもらおうとした。そして、同時に行なったもう一つの見える化である「ワークライフバランス」の取り組みについて、2015年に「ライフ・ワーク・シナジー」というチームを

240線高画質高精細 カラー印刷を標準稼働中!!

データから印刷・製本・発送まで
自社一貫体制でお引き受けします

大日印刷株式会社
☎0564-62-8461(代)☎
FAX 0564-62-8463

盛功社の創業は1889年。2014年に125周年を迎えました。
3世紀にわたるご愛顧をいしずえとして
新たな未来へ羽ばたきます。



●印刷機械 ●製版機械 ●製本機械
●DTP関連機 ●印刷諸材料

株式会社 盛功社
〒461-0014 名古屋市中区榑木町3丁目17番地
TEL 052-932-5611 FAX 052-931-0280
http://seikosha-net.jp/

発足。これは、ライフの充実によりワークも活きる相乗効果を生み出し、充実した人生を送るという取り組みである。最初に3年後のありたい姿を目標を決め、現在とのギャップを埋めていく活動を行なった。

今後の展望として、「新ソフトの運用・更新／社内の誰もが目標達成に向けての現状把握ができるようにする／経営戦略に活用／時間を意識することで効率化をし、無駄な動きをしないようにする」などが掲げられた。

見える化のポイントとして、「①ワークライフバランスと両輪で廻す見える化、②数値を分析して、戦略をたてるための道具にする、③数字は正直、憶測による無駄な議論や衝突をなくす、④効率的に働き、生産性を高め、早く家に帰って豊かな人生を送るための道具にする」と位置付けた。



見える化セミナー 業務管理システム (MIS)を利用した 現状の取り組み

加藤 義章
㈱フジカ社長

3社目には、㈱フジカ加藤義章社長が3年間の同社の取り組みを発表した

前回、1年目経過時の課題として、「①見える化された情報のさらなる活用と徹底、②加工部門での事後入力から同時入力へのシステム拡大、③刷版、加工部門での改善活動の強化、④アワーレイトの見直し、⑤成果の配分」などがあつた。これを踏まえ3年目の活動結果について、「①先行管理という点では進捗が把握しやすくなった、②加工部門において早い対策がうてるようになった、③各自の個別の損益に対する意識が上がった、④事前検討、危険予知力が上がってきた、⑤全体数字への社員の意識づけ、動機づけがまだ弱く、仕組みとして活かしきれていない、⑥付加価値額増大への意識づけ、見える化の強化」が上げられた。

今後の課題、取り組みでは、「①赤字物件撲滅強化による弊害（見積りの硬直化、不採算に対する受注姿勢）への対策、②営業における付加価値額による目標設定、③間接人員・作業の見える化、④生産、特に刷版での見える化のさらなる活用、⑤生産における時間当たり付加価値額による評価の導入、⑥達成報奨制度の導入、または人事評価制度への連動」の6つが上げられた。



第3回見える化セミナー



駒田の見える化 ～情報の見える化で 目指せ粗利益率UP～

磯貝 健
駒田印刷㈱副社長

4社目には、駒田印刷㈱磯貝健副社長が3年間の同社の取り組みを発表した

その中で、見える化の取り組みへのきっかけを旧システムの陳腐化による情報管理システムの更新を上げ、目標としては、「①全社員への数字の「見える化」：特に、営業に仕入れ原価・外注発注額を裸のまま見せる、②分析に必要な適正な情報を即時・正確に収集：リアルタイムに得られる一元管理された業務情報の蓄積、③受注情報や業務情報のデータ入力作業の標準化：誰でも簡単に間違いなく行なえるデータ入力環境、④売り上げ、原価、決算ができるKPCentral(駒田印刷中央管理システム)を導入：いくらで売って、何にどれだけの費用がかかって、いくら儲かったか、全社員が自分で見て共有できるシステム」が掲げられた。そして、3年間の運用結果として、「①3年連続の増収増益、②社員の意識の向上、③人的稼働率把握による多能工化、④製本機導入による内製化、⑤高効率の受注物へ売り上げより利益を重視した仕事へのシフト」が示された

今後の目標については、「一人ひとりの目標設定、各セクションの更なる効率アップ、新たな投資による攻撃と安定について」などが設定された。

紙でご愛顧70年

印刷用紙専門商社



メイカミ

名古屋紙商事株式会社

社長 鬼頭正二郎

名古屋市東区主税町4-83 〒416-0018

TEL.052-931-2221(代) FAX.052-932-1418

豊山配送センター 愛知県西春日井郡豊山町豊場

TEL. (0568) 39-0501

幅広いニーズに対応するキャパシティと工場24時間稼働体制でサポート

最新鋭化、生産性を高めるために全機種をハイデムヘルク印刷機に統一

Computer to film Computer to plate Computer to press

印刷ステーション
DAIKYU

株式会社 太急 〒460-0007 名古屋市中区新栄1-14-21
TEL.052-262-0555 FAX.052-262-1043
関連会社/ ㈱太急・(株)山川

- OFFSET PRINTING
組合印刷
- UV PRINTING
特殊紙・バスターン印刷
- POST CARD・ENVELOPE
はがき・封筒カッター印刷
- BUSINESS CARD
名刺・DM・サンマン印刷
- SEAL・有孔加工
シーリング機・有孔印刷機
- OUT SOURCING
発注印刷 各種加工

経済産業省、中小企業庁、自由民主党中小印刷産業振興議員連盟宛に 官公需取引における要望

国等の契約の方針／低価格競争防止策の導入／財産権の保護

全日本印刷工業組合連合会(全印工連)では、昨年8月27日に開催された自由民主党中小印刷産業振興議員連盟において、用紙の値上げおよび印刷物の官公需取引に関する意見を述べたところ、議員の方々から「官公需取引の現状・実態を把握すべき」との意見が出された。そこで、当連合会では、昨年10月から調査を行ない、その結果(回答企業数1,071社)を踏まえ、下記の3項目を要望することになった。

官公需取引における要望

□「中小企業者に関する国等の契約の方針」の徹底遵守

(1) 資材値上げの価格転嫁を確実に履行すること

官公需取引については、毎年「中小企業者に関する国等の契約の方針」(以下、「契約の方針」)が閣議決定され、その方針に基づき官公庁や各自治体の入札が行なわれる。「契約の方針」には、「最新の実勢価格等を踏まえた積算」に基づいて適切に予定価格を作成すると謳われている。しかしながら、今回の調査結果では、「資材の価格転嫁ができていない」との回答は、僅か14.4%に過ぎず、85.6%は資材価格が上昇しても、値上がり前の価格で契約せざるを得ない。特に、東北、関東甲信越、九州では11から12%という低率である。さらに「予定価格・落札価格における原材料の実勢価格が反映されている」という回答も僅か18%である。官公庁・各自治体には、「契約の方針」の徹底遵守を要望する。

(2) 銘柄指定の排除

「契約の方針」には、「銘柄指定を行なわない」と掲げられている。しかるに今回の調査結果では、何らかの形で、印刷用紙の銘柄指定されるケースが6割を超えている。特に北海道では8割以上、それ以外も軒並み5割を超えている。銘柄指定は、中小企業・小規模事業者の受注機会を失うことに繋がるため、一切行なわないよう要望する。

(3) 地域の中小企業・小規模事業者等の積極活用

毎年、「契約の方針」には、「地域の中小企業・小規模事業者等の積極活用」が掲げられている。地元企業への優先発注に関する調査結果では、地域で格差はあるものの、「十分に実施されている」との回答は、全国平均で9.7%であり、地元企業優先発注が行なわれずに「地元以外に仕事が行われている」と回答した企業の割合は13.5%、「一部実施されているものの、まだまだ不満足」との回答が55.7%を占めている。地元企業優先発注が、ある程度は進んでいるものの、安倍政権が掲げる「地方創生」を進めるためにも、地元の仕事は地元で生産するという、さらなる地域の中小企業・小規模事業者等の積極活用を要望する。

□「低価格競争防止策の導入」

官公需の最近の状況としては、「厳しい低価格競争に晒されている」という回答が83.5%と非常に高い割合を占め、相変わらずの苦しい状況が伺える。全印工連ではこれまで長きに亘って、地場産業の代表格ともいえる中小印刷業界の健全

な育成、発展のため、著しい低価格入札の防止策として、法律にある「低入札価格調査制度」または「最低制限価格制度」の導入とその厳密な運用を図るよう運動してきたが、全国的に見ると「印刷」への制度導入は未だに約1/3程度にとどまっている。また、「印刷」は、「契約の方針」の中で、中小企業性の高い「官公需特定品目」に指定されているにも拘らず、一部で実施されている「競り下げ方式(リバースオークション)」(「煩雑に実施されている」13%、「時々実施されている」32%)は際限のない値下げ競争を促すことになる。中小印刷業界の健全な発展、継続のためには、適正な利潤を含む適正価格での受発注制度の確立が急務であり、一刻も早い低価格競争防止策の導入を、国から地方自治体へ強力に指導されるよう要望する。

□「財産権の保護について(中間生成物の所有権とイラスト、写真、編集等の著作権の保護)」

これまでの判例において、「印刷物の請負契約においては、製作途中で生成される物品(中間生成物)は契約の目的物ではないため、その所有権は請負人に帰属し、注文者に引き渡す義務はない」と示されているにも拘わらず、印刷データについて、「契約条件で殆どの場合、無償で要求される」が46.8%、「時々、無償で要求されることがある」が29.5%と約8割を占めている。印刷データは印刷会社のノウハウ、技術力を注ぎ込んで作られるものであり、また、再版という面からも財産的価値が高いものである。また、印刷会社が製作するイラスト・写真・編集等の著作権については、知的財産基本法の理念で、事業者の権利保護や民間における効果的活用が謳われており、加えて、「契約の方針」では、「知的財産権の取り扱いについて書面をもって明確にするよう努めるものとする」とされているが、「殆どの場合、契約条件等により無償で権利譲渡が求められる」が50.2%、「時々、無償で要求されることがある」が26.2%と約8割を占めるといった現状にある。この著作権も印刷業界のコンテンツとして非常に財産的価値が高いものである。

従って、官公需契約にあたっては、印刷会社の財産権の保護という観点から、判例や法律における所有権、著作権といったそれぞれの貴重な財産権を念頭に置いた契約内容に改めること、また、やむを得ず権利譲渡を必要とする場合には、印刷物とは別に報酬請求権が発生する契約物として明示し、その対価について適正な支払いがなされるよう早急な見直しと改善を要望する。

理事長候補者に細井俊男氏

通常総代会は5月20日名古屋観光ホテルで開催

愛印工組平成27年度2月期理事会・支部長会が、2月29日午後3時30分より、メディアージュ愛知3階会議室で開催された。理事会では、平成27年度決算見込み、委員会実施事業、次期役員候補などが審議された。また、理事会終了後、支部長会が開催され、中川支部解散による組合員の支部異動、次期支部役員などが報告された。(出席者は24名)。

中川支部解散に伴う支部異動

理事会の冒頭、挨拶に立った木野瀬理事長は、最初に60周年記念事業が成功裡に終了できたことに関して、役員・組合員の協力に感謝の意を表したのち、「先ほど、高井(昭弘)顧問から苦言をいただいたので紹介する。まず1点は、私はたくさんの方が参加してくれたと思っていたが、高井顧問からは、懇親会は多かったが、式典への組合員の参加が少なかったこと。もう1点は、女性の参加が少なかったことである。これを10年後の式典への申し送り事項としておきたい。

今日は、決算見込みなど議案に出るが、お陰様で赤字にならずに次にバトンタッチができる。この建物を引き継いで、健全運営させるのが、最初の私の仕事であった。その仕事をきちんとやって、それから一つひとつの事業の収益をきちんと見込むこと、これは副理事長、委員長のお陰ででき細かくできたと思っている。事務局業務の分担でもGC中部の仕事をしているが、あまりにも事務局員の負荷がかかるので100項目ぐらいをきちんと整理した。一つひとつきちんとやると、きちんとした運営ができるのだと感じている。これは組合運営だけではなく社業も同じだと思う」と述べた。

続いて、河原善高専務理事から、出席者24名で理事会の成立が報告されたのち、組合員の加入・脱退の件では、3月1日付けで、(株)大塚商会中部支店、リコージャパン(株)名古屋事業



2月期理事会・支部長会

所の賛助会員への加入が承認された。平成27年度決算見込みの件では、7,725万円の決算見込みの内容が報告され承認された。各委員会実施事業では、最初に創立60周年記念事業について報告があり、その後、三役直轄事業から各委員会事業の実施結果、予定が報告された。

現中川支部地域(中川区・港区・豊明市)の今後の帰属支部の件では、現組合員は希望の支部へ移動、新入会員については、熱田支部へ帰属するとし、現時点で熱田支部1社、中支部1社、東尾張支部1社、中村支部2社が異動を決定、未定は2社となっている。


次期(平成28・29年度)役員では、理事長・副理事長・各委員会の委員長の候補者が紹介され承認された。

□理事長候補者：細井俊男

□副理事長候補者：鳥原久資、酒井良輔、松岡祐司、木村吉伸、岩瀬清

□委員長候補：荒川壮一、山田慎二、野々村昌彦、久野彰彦、磯貝健、堀裕史、服部晋吾 (敬称略)

理事会終了後、支部長会に移り、各支部の活動報告、実施予定事業が報告され、次期支部役員候補が報告された。また、その他として、平成28年度通常総代会を5月20日、名古屋観光ホテルで開催することが報告された。



KONICA MINOLTA


Giving Shape to Ideas

コニカミノルタに全てお任せください。

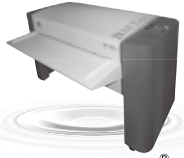
色校正

環境対応プレート
ケミカルレスCTPシステム


デジタル印刷システム




Falbard AQUA®



BLUE EARTH®



bizhub PRESS
C1100/C1085



bizhub PRESS
C1070/C1070P/C1060

コニカミノルタ ジャパン株式会社 PPG営業統括部 中部営業部
※2016年4月1日より社名が変更されました(旧社名コニカミノルタビジネスソリューションズ株)

〒460-0008 名古屋市中区栄2-9-15
三井住友海上名古屋しらかわビル11F TEL.052-229-4624(代)

平成28年度前期

「鉛・有機溶剤取扱者健康診断実施」のご案内

鉛・有機溶剤取扱者は6ヶ月毎に1回の受診を義務付け

毎年、実施しております「鉛・有機溶剤取扱者健康診断」を、(一社)オリエンタル労働衛生協会及び(一財)名古屋公衆医学研究所に委託し行ないます。該当者のある企業は、「鉛・有機溶剤取扱者健康診断受診申込書」に必要事項を記入の上、愛印工組事務局までお申込み下さい。

▼「鉛・有機溶剤取扱者健康診断」について

(1) 有機溶剤取扱者健康診断実施要領

- ①基本健診: 対象有機溶剤/業務の経歴調査、有機溶剤による既往歴等の調査、自覚症状等の検査、尿中の蛋白の検査。
- ②指定健診: 対象有機溶剤。
- ③その他、医師が必要と認めた項目(検査料は実費)。

(2) 鉛取扱者健康診断実施要領

- ①業務の経歴調査。
- ②鉛による自覚症状又は他覚症状の既往歴調査。
- ③血液中の鉛の量及び尿中のデルタアミノレブリン酸の量の既往の検査結果調査。
- ④自覚症状又は他覚症状の有無の検査。
- ⑤血液中の鉛の量の検査。
- ⑥尿中のデルタアミノレブリン酸の量の検査。
- ⑦その他、医師が必要と認めた項目(検査料は実費)

(3) 実施時期

平成28年4月～平成29年9月の間。

*基本健診の受診に当たり使用有機溶剤名を「受診申込書」に必ず記入。

(4) 受診料の支払いについて

検診終了後、委託先より請求書が届き次第お支払い下さい。

(5) 申込方法・締切り

「受診申込書」に必要事項を記入の上、愛印工組事務局(担当:河原)へFAX052-951-0569にてお申込み下さい。

*健診委託先または、他の検診機関へ直接お申込みをされた場合は、組合への申込みは不要です。

(6) 健診委託先

オリエンタル労働衛生協会(担当:徳永氏)名古屋千種区今他1-8-4 TEL 052-732-2200 / FAX 052-733-7100

名古屋公衆医学研究所 開発事業部(担当:高羽氏、三宅氏)名古屋市中村区長葎町4-23 TEL 052-412-3111(代)/ FAX052-412-3008

*鉛・有機溶剤取扱者は、それぞれ6か月毎に1回の受診が法律によって義務付けられていますので、該当者は必ず受診して下さい。

■検査の対象となる有機溶剤等一覧、検査料金

※該当する有機溶剤の有無をよく確認してください。

※対象有機溶剤は下記物質を合わせて5%を超えて含有しているものです。

▼有機溶剤指定健診及び有機溶剤基本健診の対象薬品(検査料:円/人 ※消費税別)

▽第2種: シレン(キシロール)、トルエン(トルオール)、1,1,1-トリクロロエタン(メチルクロロホルム)=代謝物2,500円

▽第2種: ノルマルヘキサン(n-ヘキサン)=代謝物2,600円

▽第2種: N,N-ジメチルホルムアミド(DMF)=代謝物2,600円・肝機能1,000円

▽第2種: クロロベンゼン、オルト-ジクロロベンゼン、1,2-ジクロロエチレン(別名:二塩化アセチレン)、クレゾール=肝機能1,000円

▽第2種: エチレングリコールモノエチルエーテル(別名:セロソルブ)、エチレングリコールモノエチルエーテルアセテート(別名:セロソルブアセテート)、エチレングリコールモノブチルエーテル(別名:ブチルセロソルブ)、エチレングリコールモノメチルエーテル(別名:メチルセロソルブ)=貧血450円

▽第1種: 二硫化炭素=眼底850円

▼有機溶剤基本健診のみの対象薬品(検査料:2,000円/人 ※消費税別)

▽一般健診有機溶剤名

[第2種]

1.アセトン2.イソブチルアルコール(IBA)3.エチルエーテル4.イソプロピルアルコール(IPA)5.イソペンチルアルコール(別名:イソアミルアルコール)6.酢酸イソブチル7.酢酸イソプロピル8.酢酸エチル(酢エチ)9.酢酸イソペンチル(別名:酢酸イソアミル)10.シクロヘキサノール11.シクロヘキサノン(アノン)12.テトラヒドロフラン(THF)13.1-ブタノール(n-ブタノール)14.2-ブタノール(イソブタ)15.メタノール(メチルアルコール)16.メチルエチルケトン(MEK)17.メチルシクロヘキサノール18.メチルシクロヘキサノン19.メチルブチルケトン(MBK)20.酢酸ブチル(酢ブチ)21.酢酸プロピル22.酢酸メチル(酢メチ)23.酢酸ペンチル(別名:酢酸アミル)24.ジクロロメタン(別名:二塩化メチレン)

[第3種]

※以下については、タンク内(例:地下室、窓を開けていない屋内作業場等)における業務に適用されます。

25.ガソリン26.コールタールナフサ(ソルベントナフサを含む)27.石油エーテル28.石油ナフサ29.テレピン油30.石油ベンジン(灯油、石油、白ガソリンを含む)31.ミネラルスピリット(ミネラルシンナー等を含む)

■お知らせ

「印刷会社の女性活躍を考えようin愛知」開催 女性の活躍で変わる、変える、これからの印刷産業

印刷会社の女性活躍を考えるフォーラム「印刷会社の女性活躍を考えようin愛知」が、CSR・ダイバーシティ委員会主催により開催される。フォーラムでは、日本で一番働きやすい業種を目指して、印刷産業における女性活躍の土壌づくりが討議される。

■日時:平成28年5月9日(月) / 14:30 ~ 16:30

■会場:ウインクあいち12F

■定員:75名(事前申し込み・先着順)

■参加費:2,000円

■申込み:参加申込書をFAXにて愛印工組まで

【第1部 基調講演】

演題:「女性の力が企業を変える～働き方改革で業績

アップ～」

講師:菊地加奈子氏(特定社会保険労務士菊地加奈子事務所/㈱ワーク・イノベーション代表取締役)

【第2部 事例報告及びパネルディスカッション】

■事例報告:自社の女性活躍推進の取り組みについて

講師:吉澤和江氏(㈱太陽堂封筒代表取締役)

講師:山田慎二氏(㈱二和印刷紙業常務取締役)

■パネルディスカッション:女性活躍、本音トーク

コーディネーター:木野瀬吉孝氏(木野瀬印刷㈱代表取締役)

パネラー:菊地加奈子氏/吉澤和江氏/山田慎二氏

■平成28年度通常総代会

平成28年度通常総代会は5月20日(金)名古屋観光ホテルで開催。15時30分～協同組合「総会」、16時～工業組合「総代会」、18時15分～両組合「合同懇親会」



□愛印工組・マーケティングセミナー 異業種トップから 学ぶチャンス

講師にまるは食堂坂野社長を招く



愛印工組マーケティング委員会(鬼頭則夫委員長)は、3月11日午後6時半よりメディアージュ愛知において、「第3回新しいビジネスモデルを考える研修会(ワンコインセミナー)」を開催した。当日は、まるは食堂の「㈱まるは」の坂野豊和社長を講師に招き、「異業種トップから学ぶチャンス」と題し講演が行われた。(参加者は30名)

セミナーの冒頭、挨拶に立った鬼頭委員長は、「愛印工組には、マーケティング委員会以外にも6委員会がありそれぞれ活発な活動をしている。このマーケティング委員会は、働く最前線に立っている方々の役に立つことを基本にしている。コンセプトは、「自腹を切る。」であり、初めから与えられた勉強ではなく、自分の意志で勉強しにくることを狙いとしている。そのために、気軽に参加してもらえるようワンコインセミナーにしている。本日も自腹を切っても知識を得たいと参加した人ばかりである。参加したからにはスキルアップしていただきたい」と述べた。

久野彰彦副委員長から、講師の略歴紹介が行われたの

ち、講演に入った。

坂野講師は、「今日の話の重要なことは、「学ぶ」、「知行合一」、「結果」の3つとし、学ぶとは単に本を読むだけではなく、他の人から学んだことを真似ていき、それを自社に落とし込んでいくこと。知行合一は、ただ知っているだけでは何も変わらない。思ったことを実践してこそ変わっていく。そして結果は、稲盛(和夫)氏の言葉である熱意×能力×考え方を引き合いにだし、熱意だけでも、能力だけでも、考え方だけでも、良い結果は生まれないが、この3つが掛け合わされたとき結果がでる」と指摘。

講演では創業から現在までの会社の業績について分析し、危機、繁栄の原因、何故そうになったか、どのように対応したかなどを紹介した。その中で、常に基本となったのは、現在の社是になっている創業者である祖母の言葉「信者を創れ」「儲けんでもええ、儲かる」「お客様が喜んでくれることをやればええ」を紹介。この言葉には、信用、信頼されるような経営者、スタッフになることを意図しており、逆に相手を信用、信頼する人になることが必要である。「人がいろいろ言ってくれるような人になっていけば、商売もおのずから儲かっていく」との考えで、「私どもは、お客様から言っていたいただいたことを実践してきたからこそ、現在の形になっている」とした。

人材育成では、香川県の高橋ふとん店社長から学んだ「人育てなくして、事業継承はなし」という言葉を基に、「パートナーカード」を作成。会社の方向性についてパートも含む社員と共有している。このパートナーカードには、個人の人生理念、社員基本指針、経営理念、年度のテーマ、パートナー心得が記載されている。これは、成文化されたものとは別に、アルバイト、パート社員にもいつも携帯でき、わかりやすく要素だけが記載されている。

㈱まるはは、創業者相川うめ氏が戦後鮮魚の行商を始めたのがきっかけで魚屋を開業。その後、食堂や旅館に挑戦し今では、南知多の豊浜本店を始め中部国際空港店、りんくう常滑店、ラシック店、イオンモール大高店など、営業範囲を広げ「お客様の満足」のために挑戦が続いている。

第7回
ホスターグランプリ

おかめひょっとこ
いづれめでたい男と女

第7回ホスターグランプリ
入賞・入選作品展

平成28年11月22日(火)～27日(日)午前10時～午後6時
(会場)日本印刷工業会館 第4階大会場(5F)
愛知県美術館1Fキヤリアー展示室D
[愛知芸術文化センター8階]

テーマ **VS**
作品募集

主催 / 愛知県印刷工業組合・岐阜県印刷工業組合・三重県印刷工業組合・石川県印刷工業組合・富山県印刷工業組合・愛知県印刷協同組合
共催 / 愛知県印刷産業団体連絡会(有)つるぎ出版社 後援 / 中部経済産業局・愛知県・岐阜県・三重県・石川県・名古屋市長官庁教育委員会・岐阜県教育委員会・三重県教育委員会・名古屋市長官庁教育委員会・中日新聞社・
中部デザイン団体協議会・全日本印刷工業組合連合会 協賛 / 印刷関連企業

減(ガス警報遅延中/遅延設定時)、緑点灯(通電時)、緑点滅(電源ON初期遅延中)、緑高速点滅(故障)、緑ゆっくり点滅(交換期限お知らせ)。

交換期限お知らせ機能は、交換期限(約2年)を過ぎると緑ランプがゆっくり点滅。警報停止スイッチ操作にて「交換期限を過ぎています」と音声で知らせる。

寸法=横70×縦120×厚さ25mm(突起物除く)、重さ=約200g、電源コード=2.5m、標準付属品=点検ガス、取付金具、皿ネジ、コード振れ止め

▼購入申し込み 全日本印刷工業組合 / 〒104-0041 東京都中央区新富1-16-8 TEL03-3552-4571、FAX03-3552-7727 (全印工連ホームページで使用方法の説明動画を見ることができる)



VOC警報器XH-981G

編集だより

■4月は新入社員の季節。愛印工組の新入社員研修も始まりました。夏場を除き、9月までの長丁場ですが落伍することなく頑張っていたきたいものです。楽しい時、苦しい時、いろいろあると思いますが、何かあれば同僚と相談したり、先輩に聞いたりし、一人で考え込まないことです。1日も早く印刷人として成長されることを願っています。

■全印工連/組合員限定キャンペーン
オフセット印刷工場用「VOC警報器」
特別価格25,000円(税別)で販売

【有機溶剤による健康障害から社員を守るために】

オフセット印刷工場用VOC警報器XH-981Gは、一般社団法人日本印刷産業連合会と新コスモス電機株式が、印刷事業所から有機溶剤による健康被害を発生させない、ために共同開発したもので、今回のキャンペーン販売は、その予防保全の一環として本機器の普及促進を目的としている。

定価48,000円(税別)のところ組合員限定特別価格25,000円(税別)で販売 / 1台

VOC警報器XH-981Gは、「GP資機材」認定製品として認定された。熱線型半導体式センサでVOCをトータルに検知し、VOC濃度が一定レベルを越えると、ランプと音声メッセージで知らせる。

本体は警報部、検知部一体型のコンパクト設計で、設置場所はオフセット印刷工場の印刷機械デリバリ部(印刷物排出部)、印刷機械上部、印刷機と印刷機との間など。

警報方式は、赤ランプ点灯音声メッセージ(ウーウー、ピポッ、ピポッ空気が汚れて危険です。換気して下さい)と知らせる。ランプは、赤点灯(ガス警報)、赤点

あいの印刷

No.533

平成28年4月10日発行

発行人
編集
発行所
〒461-0001

木野瀬 吉孝
組織・共済委員会
愛知県印刷工業組合
名古屋市東区泉一丁目20番12号
メディアージュ愛知1階
TEL (052) 962-5771
FAX (052) 951-0569

◆ホームページアドレス <http://www.ai-in-ko.or.jp/>
◆E-mailアドレス jimukyoku@ai-in-ko.or.jp

美しさ・誠実・挑戦

お客様に企画、デザインを通し、
真の感動を提供出来る様、
常に進化し続ける企業を目指します。

グラフィックデザイン	Graphic design
ウェブデザイン	Web design
セールスプロモーションデザイン	Sales promotion design
エディトリアルデザイン	Editorial design
アドバタイジングデザイン	Advertising design
オンデマンドプリンティング	On-demand printing

adWISE

株式会社 アドワイス

〒451-0062 名古屋市西区花の木1-16-18 花の木ハイツ1F

TEL 052・523・1257 FAX 052・523・1258 E-mail: ad-wise@ad-wise.biz

heart

人から人へ心を伝える ハート紙製品



グリーン購入法適合封筒・環境配慮型製品
名刺・封筒・はがき・カード・賞状・カレンダー

デザイン作成・企画提案から印刷・納品までトータルにサポート
官公庁・企業様、ユーザー様など幅広くご利用いただいております

ハート株式会社

URL: www.heart-group.co.jp



インバウンドを
ビジネスチャンスにつなげる。



モリサワは、日本障がい者スポーツ協会を応援しています

インバウンド対応情報発信ツール

MC Catalog+

エムシー カタログ プラス

チラシ、パンフレットなど、あらゆる
コンテンツを多言語化し、スマート
フォンやタブレット端末に向けて、
配信するクラウドサービス。

詳しくは

www.morisawa.co.jp

●記載されている会社名・商品はそれぞれ各社の登録商標または商標です。
●本仕様は、予告なく変更する場合があります。

Axuas

私たちは、地球に優しい商品とサービスの提供を通して、
心豊かな社会の実現に貢献します。

次の世代に豊かな地球を残し、
皆様の幸せに貢献する企業でありたい。



紙・包材・LEDの
株式会社

アクアス

本社所在地 〒460-0008 名古屋市中区栄一丁目25番35号
紙営業本部 TEL(052)220-5511 IP電話(050)3533-5511 FAX(052)220-5522
Home Page <http://www.axuas.jp> E-mail info@axuas.jp



キングは 印刷会社の パートナー

詳しくは



Printing Supply

封筒用紙・名刺用紙・
ハガキ・包装用高材

Printing Promotion

カレンダー印刷・名入販促物
(クリアホルダー、ふせん等)

Printing Support

業務支援アプリ・
営業支援アプリ

Printing System

名刺作成システム
(ソフト、プリンター、裁断機)

king 株式会社キングコーポレーション

本社 / 〒460-0002 愛知県名古屋市中区丸の内3丁目7番23号 TEL 052-961-7661 (代)

全国15拠点を
サポート

名古屋本店 / 東京支店 / 大阪支店 / 福岡支店 / 仙台支店 /
さいたま支店 / 横浜支店 / 静岡支店 / 金沢支店 / 神戸支店 /
広島支店 / 鹿児島支店 / 札幌営業所 / 青森営業所 / 浜松営業所

原点、そして未来へ。80, 90, 100年

KOBUNDO
創業70周年

KBD NEW PRODUCTS

オンデマンド UV-LED インクジェットプリンタ
KBD compress HS
デュアルUV-LEDランプで
硬化スピードが従来の3倍に!

A2印刷面積
300mmまで
高さ対応
1mm可能



デジタルホットスタンププリンター

KBD デジハタAF

オンデマンドで箔を
印刷する



ユーザビリティな動画サイトを簡単操作で
実現するCloudサービス登場!

KBD ムービング セレクション
MOVING SELECTION

- 複数の動画をブラウザで一括表示
- インデックス機能でカテゴリ分け表
- 登録や表示ON-OFFがカンタン!



Web動画を**ラクラク**一覧表示

オンゼルスUV装置
KBD LED-UV イージックス
先進のテクノロジーが、
すでにある印刷機をも進化させます。

UVニスでオンデマンド印刷物に付加価値を与える!
KBDデザインニスコーター

6種類のニス柄が付いたローラーで、
印刷物の表面を保護しながら
付加価値の高い
ニスコーティング
を実現。



世界が認めた AVT 社製システム搭載
シール・ラベル検査装置
シール・ラベル用全自動検査装置
KBDチェックマスター-SL
全ての不良を検知する、幅狭のシール・ラベル
全自動検査装置。用紙に対応!



ヨコ軸仕様
タテ軸仕様

AVT
Adapted Vision Technology

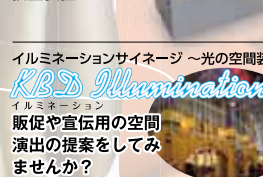
枚葉オフセット検査装置
オフセット印刷 品質検査装置
KBD Lab-vision
機能・品質・デザイン
ひとつも妥協しない
ハイエンド検査装置



刷版データ比較 刷り出し・抜き取り検査装置

KBD Micro-vision
PDF Matching Sheet Scanner

真に実用的な
「スタートプレス」
検査装置



イルミネーションサイネージ ~光の空間装飾~
KBD Illuminations
イルミネーション
販促や宣伝用の空間
演出の提案をしてみ
ませんか?

画像データでリアルな試着ができる!
KBD バーチャルサプライズ New Try On



着替えないこれからの試着!
360°
ホースに
合わせて
リアルな試着!

製本機ローラー洗浄剤

KBD グローブECO

貼るだけで3Dの効果を実現
KBD 3Dラミネートフィルム
メディアに出力した後、
ラミネートするだけでレンズ効果で3Dに!

防水球体型サイネージ

KBD GURU LED

NEWシリーズ40・50・60

2つのデジタルを同時に表現!
インパクトの高いLEDサイネージ!!



印刷機材の総合商社
株式会社 光文堂

本店 / 〒460-0022 名古屋市中区金山三丁目15番18号 TEL 052(331) 4111 (代)
支店 / 東京 支店 / 東北 静岡 大阪 北九州 福岡 営業所 / 北海道 青森 山形
平塚 函根 沼津 浜松 岐阜 福井 金沢 富山 京都 山口 大分 熊本 沖縄